

事業用自動車の安全プランに基づく安全対策の実施

内閣府特命担当大臣談話（H22.1）

平成30年を目途に、**交通事故死者数を半減**させ、これを2,500人以下とし、世界一安全な道路交通の実現を目指す。

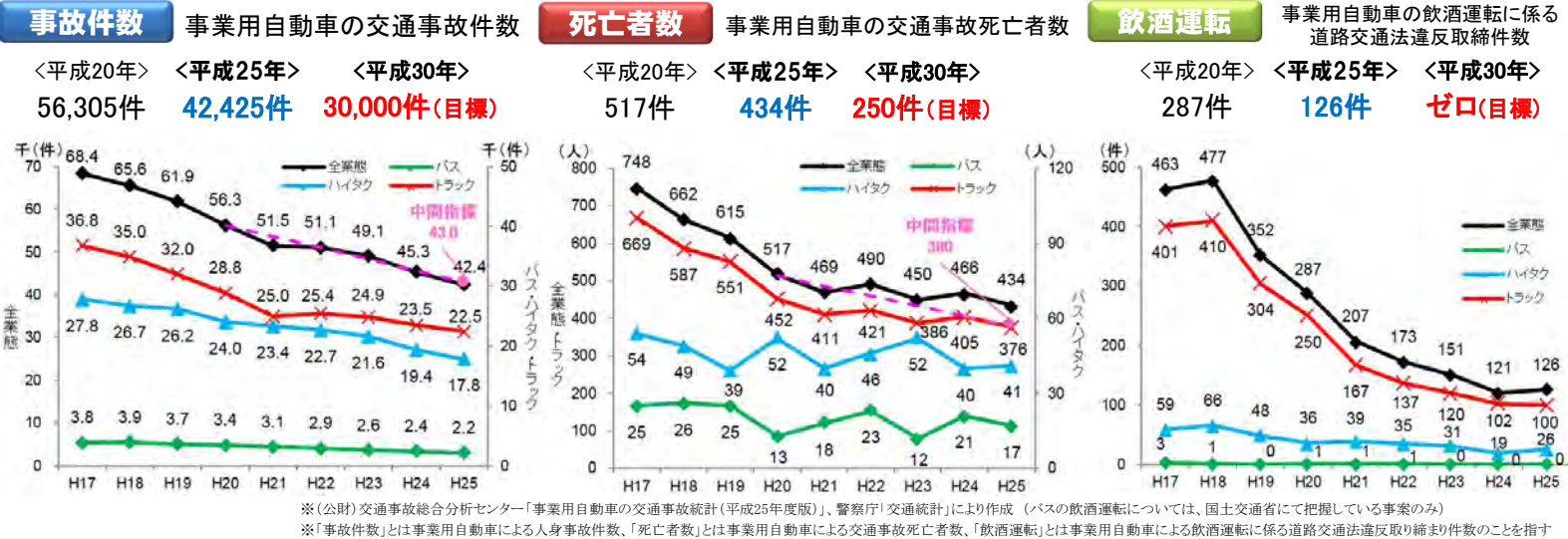


事業用自動車総合安全プラン2009

平成30年までの事業用自動車の事故削減目標

- **死者数半減**
(目標:H30年250人)
- **事故件数半減**
(目標:H30年3万件)
- **飲酒運転ゼロ**
- **危険ドラッグ等薬物使用による運行の絶無***
(※H26新規追加)

事業用自動車の交通事故等発生状況



プランの重点施策

過去5年間の事故等発生状況や施策の進捗状況等を踏まえ、**平成26年にプランの中間見直しを実施**。従来の重点施策の更なる強化を図るとともに、**新たな重点施策を追加**した。

- (1) **安全体質の更なる強化**
- (2) **コンプライアンスの徹底**
- (3) **飲酒運転の根絶・危険ドラッグ等薬物使用による運行の絶無**
- (4) **より先進的なIT・安全技術の活用**
- (5) **運行の現場を含めた関係者一丸となった行動、構造的な課題への対処***
- (6) **道路交通環境の改善** (※H26新規追加)

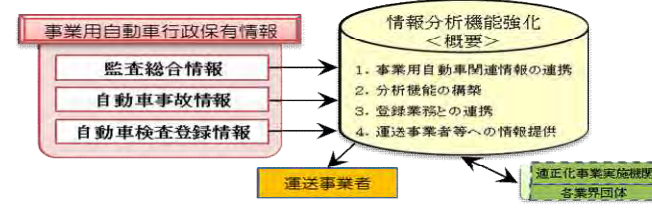
≪平成26年の中間見直し後の主な施策例≫

- ◆ **業界毎の事故発生状況を踏まえた対策**
- 各モードの多発傾向にある**特徴的な事故にターゲットを絞り**、運転者・運行管理者など**運行の現場関係者とも一丸**となった事故抑止の取り組みを実施し、**1~2年の成果を評価**する。
- バス：発進時の**車内事故**防止対策の推進等
- ハイタク：交差点での**出会い頭事故**防止対策の推進等
- トラック：**1万台あたりの死亡事故件数を2.0以下**に等

- ◆ **事故調査機能の強化**
- 各分野の専門家から構成される「事業用自動車事故調査委員会」による、社会的影響の大きな事業用自動車の重大事故について、**要因の調査と再発防止策の提言を踏まえた対策を実施**する。










- ◆ **各種情報を活用した事故防止対策**
- 個別に管理されてきた事業用自動車に関する**行政保有情報を横断的・多角的に分析し**、**事故の未然防止のための指導や監査機能の強化**に寄与する。



- 車両安全対策については、交通政策審議会の下で数値目標の設定やレビューを行うなどのPDCAサイクルを実施。
- 具体的には、交通安全基本計画の下で車両安全対策における死者数等削減目標を設定(PLAN)・対策を実施(DO)し、安全基準導入による死者数削減効果について事後的評価(CHECK)を実施、次期計画にフィードバック(ACT)させる。
- なお、本年度、現行目標(H32年までにH22年比で死者数を1,000人削減)について中間評価を実施する予定。

車両安全対策に係る30日以内死者数削減の目標設定・評価の経緯

計画期間	平成13年～(平成18年)～平成22年		平成23年～(平成27年)
	 		
検討・評価主体	H11.6 運輸技術審議会 (第2次答申)	H18.6 交政審自動車交通部会 (H18年交政審報告書)	H23.6 交政審自動車交通部会 (H23年交政審報告書)
30日以内死者数削減目標の設定	H22年までにH11年比で 1,200人削減	H22年までにH11年比で 2,000人削減 (従来目標に750人上乘せ)	H32年までにH22年比で 1,000人削減
目標達成度合いの評価	 H15年時点で <u>1,003人</u> の削減効果を確認 	 H21年時点で <u>1,977人</u> の削減効果を確認 	本年度中間評価実施予定